

ハバロフスク地方における住民への環境教育・啓発

1. 自治体名：ハバロフスク地方

2. 発表者名(所属名)：ゴルベワ・エレーナ

ハバロフスク地方天然資源省環境保全委員会 環境監査・規制課 副課長

3. 活動名：ハバロフスク地方住民の環境教育・啓発

4. 講演概要

現在、ハバロフスク地方は、ロシア極東地域において、天然資源が豊かで最も大きな産業・経済・文化の中心地である。

ハバロフスク地方政府は、この地域の自然や資源が独特であることを認識している。それを保全するために、2020年までの地方環境安全戦略、特別自然保護区の配置および発展の計画、2010-2015年アムール保護事業の計画等が承認された。

毎年4月15日から6月5日までの期間に、全国環境危機対応DAYSが実施される。2010年には、この行事において、ロシア連邦構成自治体の中で、ハバロフスク地方は優勝した。

2010-2011年に行われたロシア連邦経済の環境・エネルギー効率の評価結果によると、ハバロフスク地方は環境面で最も持続可能な開発が行われている地域の一つであった。

地方の自然保護政策の最も重要な方針は、環境教育・啓発活動によって、住民の環境認識を向上させることである。

天然資源省は以下の行事を企画し、実施している。

- ・自然保護体験活動
- ・環境コンクール
- ・会議・セミナー
- ・環境に関する文献の出版

天然資源省は他の国立自然保護機関やNPO団体、青年環境団体等と緊密に連携して活動している。

特に重視しているのは、青少年との活動である。現在、若い世代は、地方の環境問題の解決に、非常に積極的に取り組んでいる。青少年は水質・土壌・大気環境調査や地域・沿岸の清掃活動を行っている。

毎年、地方の市町村では青年の参加も含めて11000本以上が植樹されている。今年は、すでに6万本以上の様々な種類（ヒマラヤスギ、リンゴの木、洋ナシの木）が植樹された。

ハバロフスク地方には、環境や生物学に主眼をおいた青少年教育施設がある（ハバロフスク市、コムソモリスク・ナ・アムール市 Komsomolsk-na-Amure、アムールスク市 Amursk、ニコラエヴスク・ナ・アムール市 Nikolaevsk na Amure、ソヴィエツカヤ・ガヴァニ市 Sovetskaya Gavan、ソルネチニニュータウン Solnechnii）。また、環境教育の方法論に関する施設としては、ハバロフスク地方立青少年環境生物学センター「ティンエコ」（Tineko）がある。これらの施設では約11000人の子供たちが学習している。

さらに、ハバロフスク地方の学校では、サークル、クラブ、キャンプ、部活動、学校林活動等のような環境グループが活動している。

毎年、環境センター「ティンエコ」は、コンクール「自然の番人」、科学会議「未来への一歩」、フィールドスクール「若いエコロジスト」、全国環境コンクールの地方大会などを実施している。

地方の市町村で行われている環境活動では、年々、子どもや学生の参加者が増え続けている。彼らは環境保全分野において、社会の一員として積極的に活動し、次世代のために豊かな自然を保護していくことの重要性を認識している。

地方の専門家と団体の協力はもとより、他の自治体や国の協力によって、自然保護の活動はさらに大きく推進していくと確信している。

私は、我々の共同行動が、天然資源の保全と創造、環境配慮の意識高揚に寄与するに違いないと考えている。